

別記様式2-2号

視察研修等報告書

令和6年 5月 10日

坂井市議会
議長 戸板 進 殿



会派名 創政会
代表者名 田 中 哲 治

1. 日 時 令和6年4月25日(木) ～ 4月26日(木)

2. 視察研修先 地方議員研究会 東京会場

3. 視察研修内容 セミナー受講
(1) 『幸齢社会』実現会議
(2) 健康寿命と平均寿命

4. 参加者 林 豊夏

5. 内容詳細

1日目

「幸齢社会」実現会議
～政府の議論の詳細を把握しよう～

・議長が内閣総理大臣の意義

1 認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議
どこで、どれくらいの時間開催されたかが重要になる。

2 会議運営要領

①趣旨

②構成

- 議長 内閣総理大臣

副議長 内閣官房長官、厚生労働大臣、健康・医療戦略を担当する国務大臣
構成員 共生社会政策を担当する内閣府特命担当大臣、健康・医療戦略を担当する内閣府副大臣及び別紙に掲げる有識者

有識者構成員

栗田主一 岩坪威 鎌田松代 黒澤志津乃 柴田範子 鳥羽研二 藤田和子

・各構成員からの資料からわかる未来

- 1 栗田委員の資料
- 2 岩坪委員の資料
- 3 鎌田委員の資料

- 現在急増しているのは 85 歳以上の認知症高齢者、特に複合的ニーズをもつ独居認知症高齢者

早期アルツハイマー病は抗体薬で治療しても 70%の速度で進行する
(今後の認知症治療研究の方向性は?)

老老介護、仕事と介護

・現状把握と自治体への影響

- 1 地域医療情報システム
- 2 「医療・介護関係施設」が存続できるのか?
- 3 RESAS によるシュミレーション

- 地域医療情報システムによる独自試算

①寝屋川市を現状分析

②寝屋川市の未来医療

③寝屋川市の未来福祉

・政府資料を先読みして議会質疑に活かそう

- 1 認知症施策推進本部
- 2 第 1 回会議 議事録を読み解く

令和 6 年 1 月 26 日 (金) 8 時 25 分～8 時 35 分

総理大臣官邸 4 階大会議室

・実際に質問を作ってみよう

- 1 質問は市民相談・興味のある課題を選択
- 2 課題検証を逆 T 型で学習

関係法等・計画を熟読、関係者等に面談、関係課と協議する。

- 3 質問の木を育成

2 日目

健康寿命と平均寿命

- ・健康寿命延伸プラン

- 1 第 115 回社会保障審議会医療保険部会
- 2 平成 30 年 10 月 22 日 未来投資会議根本大臣資料

- ・疾病予防と重症化予防

- 1 厚生労働省の取り組みを解剖する
- 2 健康日本 21 を解剖する

- ・介護予防とインセンティブ設計

- 1 令和 5 年版高齢社会白書
- 2 私たちが考えるインセンティブ設計

- ・医学博士が教える健康政策

- 1 「ダイエット」の本当の意味
- 2 認知症は予防できる

- ・実際に質問を作ってみよう

6. 所見・感想等

- 1 日目 「幸齢社会」実現会議
(林)

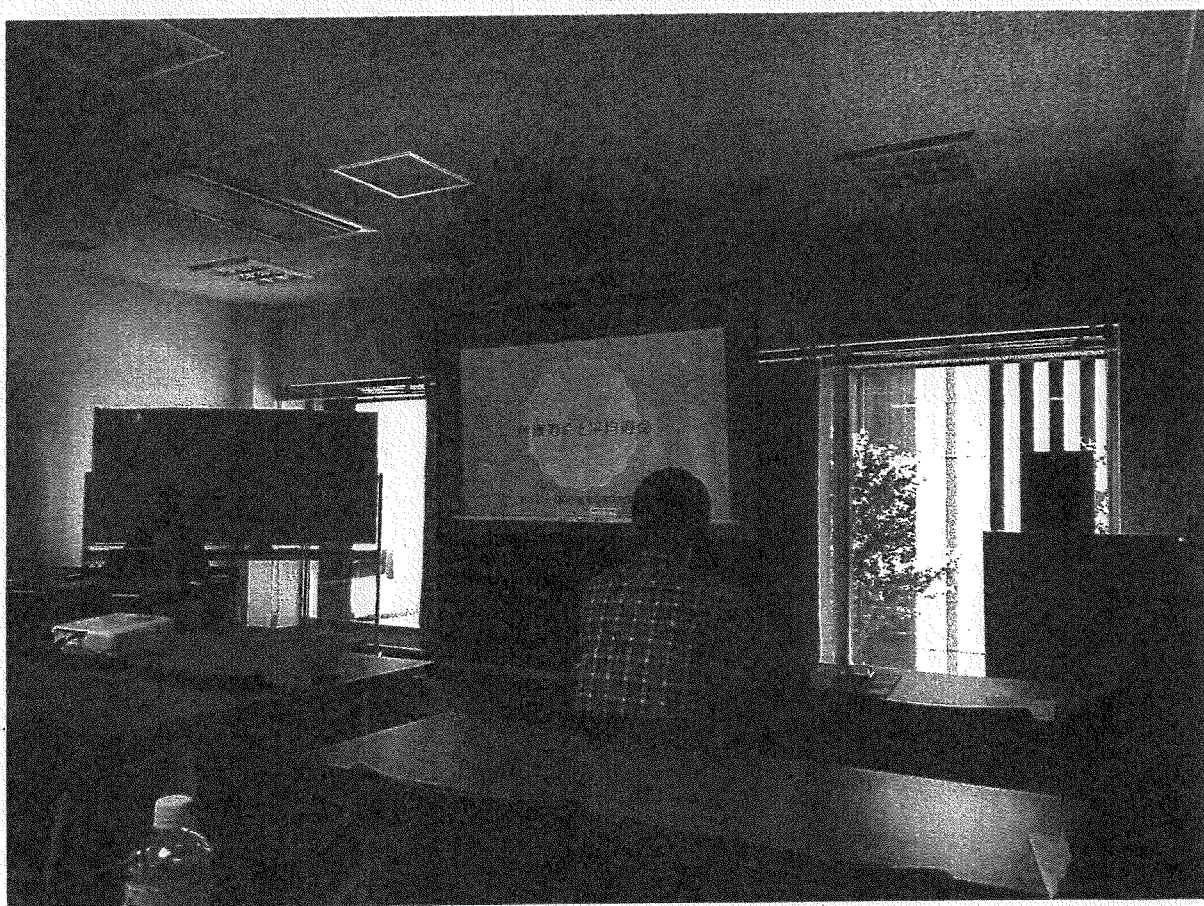
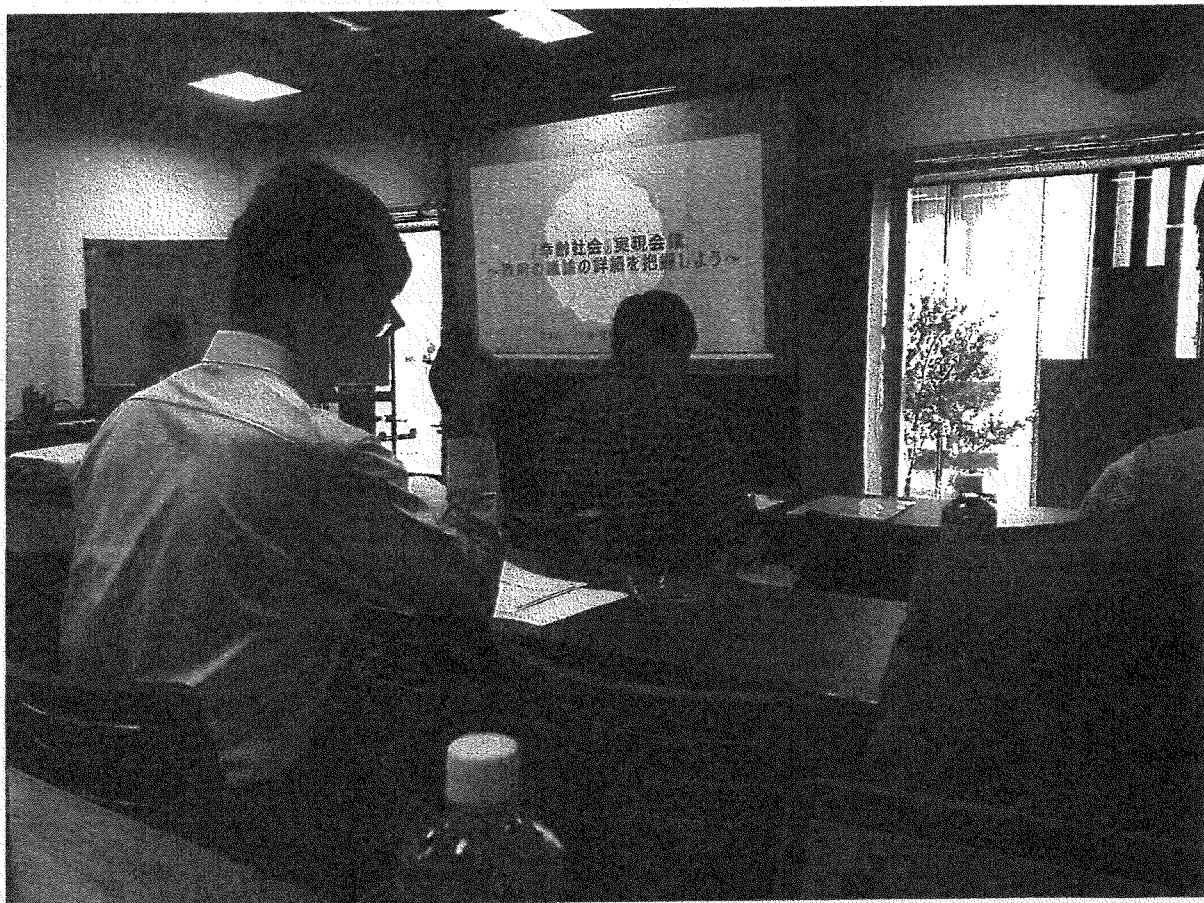
5 月から教育民生常任委員会に入るので、健康テーマのセミナーを初めて受けた。そのためわからないことも多いかなと思っていたが、誰にでもわかりやすく、議員の目線で話して頂けた。国の資料のどこを見たらいいか。行政に対してどういった質問したらいいか。など、実践的な話が多かった。特に、RESAS の話などで、データやエビデンスに基づいたものは重要であることを強調していた。

2 日目

(林)

2 日目も同じ講師の方で、引き続き健康福祉分野のセミナーを受けた。1 日目と変わらず、議員のセミナーということを前提で話して頂きました。国の会議や資料の中で、重要なポイントの見つけ方や見方があり、そのコツを掴まないと時間がどれだけあっても足りないと感じた。市が、国の指針に沿ってやっているか。国の指針自体が間違っていないか。などの、観点が重要だと感じた。2 日間通して一般質問の作り方や、常任委員会での質問の仕方を説明されていたので、参考にしたい。

7. 添付書類



会 派 内 供 覧